

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-540	14-130	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
Determination of ethyl glucuronide in hair for detection of alcohol consumption in patients after liver transplantation. 肝移植後患者における毛髪エチルグルクロニドによる飲酒同定について		
執筆者		
Hilke A, von Rothkirch Gregor, Eik V, Alexander M, Ansgar L, Dorothea F, Barbara S, Bjoern N, Martina S		
掲載誌		
Ther Drug Monit. 2014 Dec 18		
キーワード		PMID
毛髪エチルグルクロニド、肝移植、飲酒、アルコール性肝障害		25525763
要 旨		
目的：		
<p>同所性肝移植レシピエントの飲酒を早期に知ることは、組織のダメージを防ぎ患者を守るために必須である。そこで、毛髪から検出したエタノールの代謝物であるエチルグルクロニド(EtG)による飲酒に対する検出力を評価した。</p>		
方法：		
<p>31名のアルコール性肝障害(ALD)と73名の非アルコール性肝障害(non-ALD)の計104名の肝移植レシピエントを対象に、飲酒のマーカーである尿中 EtG、血中エタノール、メタノール、糖鎖欠損トランスフェリンに追加して、毛髪 EtG を測定した。測定結果について患者の自記式質問票および医師評価と比較した。</p>		
結果：		
<p>医師は22%の患者が定期的に飲酒をしていると評価したが、中等量以上の飲酒を認めていた患者は6%であった。毛髪 EtG 以外のすべてのマーカーで検出できたのは7%の患者であった。毛髪 EtG を評価に加えると、17%の患者の飲酒が検出できた。毛髪 EtG 単独で10g/日超の慢性飲酒を15%の患者で検出した。ALD患者群はnon-ALD患者群に比べて毛髪 EtG の陽性割合が有意に高かった(32% vs 8%; p=0.003)。また、毛髪 EtG 濃度はALD患者群で高く(p=0.049)、エタノール60g/日超の飲酒をALD患者群で23%、non-ALD患者群で3%に認めた。毛髪 EtG による検出を基準とした場合、飲酒の検出感度は、患者自己申告で27%、医師評価で67%と、いずれも低かった。</p>		
結論：		
<p>毛髪 EtG 検査により、ALD患者の32%、non-ALD患者の8%に定期的な飲酒を認め、肝移植患者における飲酒者の検出力が高まることが示唆された。</p>		